

令和3年（2021年）2月27日（土曜）に、すてっぷホールにて豊中駅周辺再整備構想策定に向けた意見交換会を実施しました。出席者は20名で、様々な方に出席していただきました。短い時間でしたが白熱した意見交換と発表で、まちの課題の共有が行われましたのでご報告します。

1 豊中駅周辺再整備構想骨子（案）の説明

まず、市からこれまでの経過や意見交換会の目的について説明を行い、その後、豊中駅周辺再整備構想骨子（案）について説明を行いました。

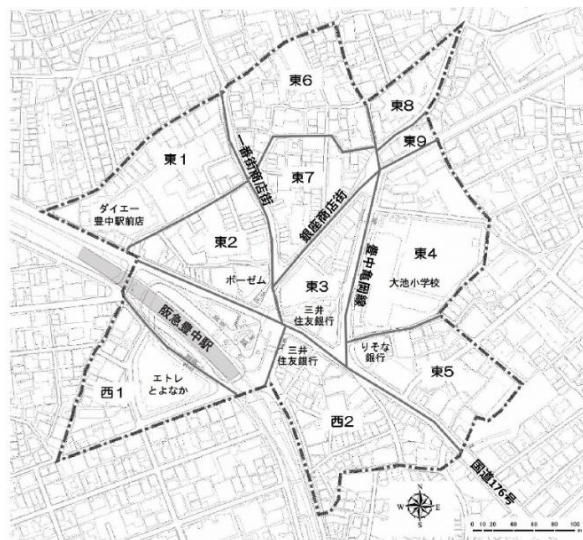
これまでの経過

豊中駅前まちづくり構想（H7）」（豊中駅前まちづくり協議会）の考え方を踏まえ、平成9年度に豊中市の方針をとりまとめた豊中駅前のまちづくりについて」（以下、基本方針という。）が策定されました。

基本方針では、公共施設の整備や面的な整備など、まちづくりの方針を示していますが、策定から20年余りが経過し、人口・世帯構成や交通量、建築更新、建物用途の変化が進んでおり、市民がまちに期待する役割やニーズも変化していることが予想され、現状に合った整備方針を定める必要があります。

豊中駅周辺再整備構想骨子（案）の構成

1. 再整備構想の背景と目的
2. 基本方針の概要
3. H9 基本方針策定時からの状況変化
4. 地域関係者のニーズ（令和元年度アンケート調査結果より）
5. 課題整理
6. 再整備の方針



再整備構想対象地区位置図

2 意見交換

豊中駅周辺地区の課題として①交通②賑わい③防災④パートナーシップの4つに大きくテーマを分けて、参加者同士で意見交換を行ったうえでまちの将来像を班ごとにまとめていただきました。

交通

- 大きくまちの改造ではなく、一本道を外れたら安全に人や車も通れるところがあり、ルール作りが必要
- 駐車・駐輪スペースが少ない
- 駅に向かうようになるから車は渋滞するので、一方通行にして、海外みたいに左側をあえて車を止められるようにしてはどうか
- 路上駐車が非常に多く、自転車の通行に支障をきたしている
- 車と歩行者と自転車が錯綜するところが多い

にぎわい

- お店の種類に偏りがあって、文房具や肌着の販売店が少ない
- 勉強会など色んな集まりとして無料で誰でも使えるスペースがない
- 小規模な図書館が分散している
- 現行の建築基準法のルールを特例で緩和できるように出来たら立地促進できるのではないかと
- 商店街の活性化のために仕掛けが必要
- 人工広場に常設のステージがあったらいいな

都市防災

- 身近なところに歩いていけるような距離に避難場所があればいいな

パートナーシップ

- 若い人が参画できる場所が必要

まちの将来像

高齢者とこどもにやさしいまち

（グループごとに出された意見を抜粋して整理しました。）

3 今後の予定について

令和3年度にワークショップ2回開催予定。その後、意見公募手続きを経たのち再整備構想策定を予定しております。

